

このコンサート企画のめざすもの

①演奏者とお客様がともに音楽を通して季節を感じられるコンサート

全ての曲を直接季節と結びつける必要はありませんが、「この時期にこの曲をなぜ演奏するのか」を語れるようなプログラムを組んで下さい。「春→スプリングソナタ」「秋→赤とんぼ」のように単純に結びつけるだけでなく、ご自身の感覚をもとに「この曲は〇〇を感じるから〇〇の季節に演奏したい」というように自由な発想で構成してください。皆さまの自由な発想に基づくプログラムをお待ちしています。

②クラシック音楽の生演奏を誰もがより身近に楽しめるコンサート

まだ日本には「クラシック音楽は敷居が高くて近寄りたくない」といったマイナスイメージがありますが、子どもからお年寄りまで誰でも気軽に、日常生活の中で生演奏を楽しめる場にしたいと考えています。

そのため演奏だけでなく、曲間のトークも工夫して頂き、誰もが生演奏を楽しめる時間を作って頂きたいと思います。

③お客様に『耳を澄ます体験』を

常に音があふれている賑やかな現代では、耳を澄ませる機会がとて少なくなっています。そのような中で、楽器の繊細な音に『耳を澄ます体験』はとても貴重なものです。

このような体験をできるコンサートは、他の会場でもあると思いますが、当館では0歳の小さなお子様から入場頂けるコンサートをめざしているので、「静かにしよう」ではなく「音楽を聴こう」とお客様が感じ、生演奏を楽しめる場にしたいと考えています。

半面、小さなお子様は「音楽」「音」に対して、声を出したり、体を動かしたりといった反応をします。このような表現も大切にしたいと思っています。

募集対象

- ・弦、木管、鍵盤楽器・声楽でクラシックを中心とした楽曲を演奏する団体・個人。
(マリンバ等の木琴や鉄琴など鍵盤打楽器は、鍵盤楽器の範囲に含みます)
- ・18歳未満の方は、団体の代表者(責任者)が18歳以上であればご応募頂けます。
- ・プロ・アマチュアは問いませんが、活動実績のある個人・団体に限ります。
- ・演奏にマイク、スピーカーなど音響機器は使用できません。

申込書裏面(企画書)の記入について

- ・まず希望の公演日を選びます。
- ・その季節や時期をイメージして、テーマやキーワードをいくつか挙げてください。
- ・それらをもとにプログラムを組み、曲目を記入してください。(全曲でなくても構いません)
- ・コンサートタイトルを付けてください。
- ・どんなコンサートにしたいと考えているのか等、自由記述欄にご記入ください。
- ・公演日は第3希望までお選び頂けます。その場合は、希望日ごとに企画書を記入してご提出下さい。
- ・演奏曲の著作権料は当館が負担します。著作権料が発生する楽曲は、演奏曲目の半分以下までとさせていただきます。

出演者決定方法と発表

- ・企画内容や演奏形態、応募動機、演奏実績などを考慮し当館にて選考します。選考結果は、5月中旬頃までにメールまたは電話で応募者全員にご連絡します。
- ・該当者がいない場合は、追加の募集を行います。

利用条件と規定

- ・出演が決まりましたら、代表者の方には打合せのため当館までお越し頂きます。
- ・当日は楽屋として、ホール隣の貸室(アップライトピアノ有/音出し可)を10:00からご利用頂けます。
- ・当日リハーサルは11:00~12:30にホールをご利用頂けます。ただし10時より開館しますので、公開リハーサルとなります。また事前にホールでのリハーサルも可能です。
- ・公演当日に交通費程度の謝礼をお渡しします。
- ・チラシやプログラムは当館で作成し、広報も行います(HPやSNS、近隣でのチラシ掲示など)。チラシはデータをメールでお送りします。より多くの方に当コンサートについて知って頂くため、ぜひ広報と集客にもご協力下さい。
- ・物販がある場合は、売上げの1割を手数料として頂きます。